



石川 宜介

## 『 方広寺の梵鐘 国家安康 』

NHK の大河ドラマ『真田丸』は12月11日に49回目の放送があり、劣勢に立つ豊臣軍で活躍する真田幸村が強烈に個性を發揮していました。このドラマの中で興味を持った部分は豊臣秀頼が豊臣秀吉の供養のために建立した方広寺の梵鐘（慶長19年＝1614年）です。

梵鐘に刻まれた銘文の大意は次のようなものと判断されます。「遠い天竺や、あるいは中国からもたらされた仏の教えというものに感謝をし、その功德によって世の中が安泰で、人々が子々孫々、平和に暮らせますように。」との願いです。しかし、この銘文に徳川家康が難癖をつけて、大坂冬の陣のきっかけを作りました。

第二区の末尾に近いところに、  
所庶幾者 **国家安康** 四海施化 万歳傳芳  
**君臣豊樂** 子孫股昌 仏門柱礎 法社金湯

今、梵鐘の文字は良くわかるように白いペンキで囲われています。

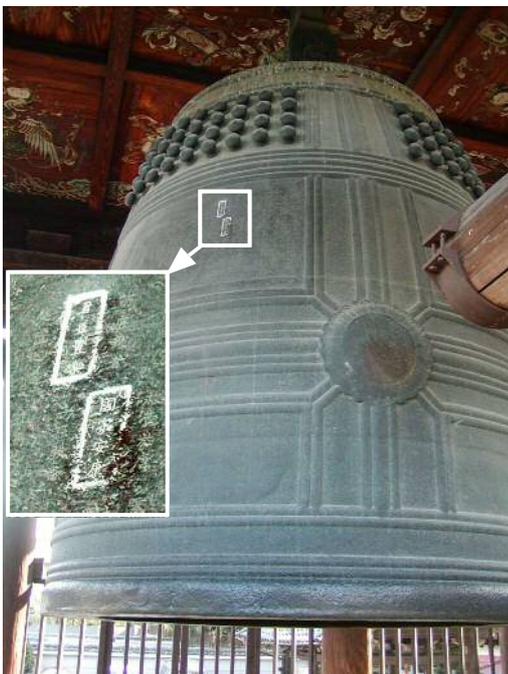
この梵鐘は奈良東大寺の洪鐘（こうしょう）を模して作られたものです。高さ 404cm、口径 276cmの大きな梵鐘ですが、坪井良平氏によると『竜頭や撞座の文様までは、十分には模造できず卑俗なものである。』とあります。中央下の図は、左半分が方広寺の右が東大寺の梵鐘です。（梵鐘実測図集成編集より）東大寺の梵鐘は竜頭の頭部が欠損しているため判然としませんが、二つは高さ・幅共に同じようです。インターネットで調べると方広寺の梵鐘の重量は82トンと何カ所かに表示されています。『鐘をつくる』には136丁の火床、踏鞴を設けて、唐金（からがね＝青銅）1万7千貫余（約64トン）を熔かし、樋四筋から鑄型に注ぎこみ4月16日完成した。又、別の箇所には計算値であるが、36トンと記載されています。東大寺の梵鐘は、これも計算値が26.3トンと推定されると書かれています。こんな梵鐘の重量を測る計量器がない時代です。本当の重量はどれくらいなのでしょう。興味が沸いてきました。

### 参考資料

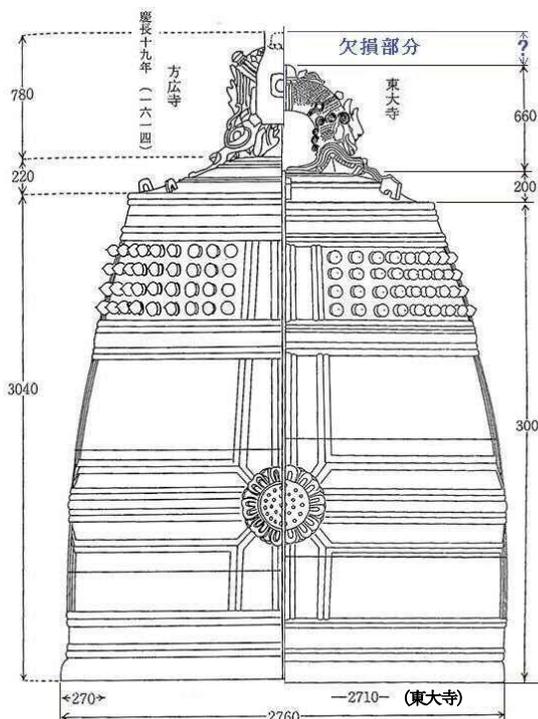
新訂 梵鐘と古文化 坪井 良平  
京都域粋67号 方広寺梵鐘  
梵鐘実測図集成 坪井 良平  
鐘をつくる 石野 亨

ビジネス教育出版社 2014年  
<http://www.kitatouhoku.com/kyoto/>  
奈良国立文化財研究所編 ビジネス教育出版社  
小峰書店 1995年

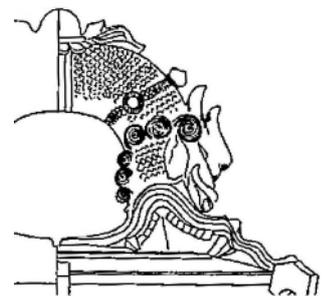
## 謹賀新年



方広寺の大梵鐘



梵鐘実測図集成 坪井良平より 編集



東大寺 梵鐘の竜頭

むらの鍛冶屋®



何でもお気軽にお尋ねください！！